



印刷営業本部 本部長 鈴木 和彦 氏

株式会社 日立ドキュメントソリューションズ様

http://www.hitachi-document.co.jp/
本社：東京都江東区東陽6-3-2 イースト21タワー
TEL. 03-3615-9000
坂戸事業所：埼玉県坂戸市千代田5-5-8

設立：1955年10月
取締役社長：飯ヶ谷 清明



生産性向上と短納期対応をミッションに、 LED-UV 乾燥装置搭載の V3000 導入で 130%以上の生産性を達成。

日立ドキュメントソリューションズは、広告 / コミュニケーション関連から IT システム開発、ドキュメント管理業務まで、顧客ビジネスの成長を多角的にサポートする幅広いソリューションを提案している。同社の印刷業務を担っている印刷製造本部では、枚葉オフセット印刷機部門の生産性向上、短納期という課題に対応するため、2015年8月、LED-UV 搭載の菊全判オフセット印刷機 V3000LS-4 を導入している。導入の経緯と成果について、日立ドキュメントソリューションズ印刷営業本部 本部長の鈴木和彦氏、印刷製造本部 印刷加工部 部長の島田利一氏、印刷加工部 課長の上野徹氏にお聞きしました。

4つのドメインで、 提案型のビジネスを推進

日立ドキュメントソリューションズは2013年10月に、グループ会社である日立インターメディアックス株式会社と、株式会社日立アイシーシーが合併して生まれた企業である。合併による事業内容の拡大とともに、顧客に何が支援できるかという視点で、「コミュニケーション支援事業」、「オフィスワーク支援事業」、「ものづくり支援事業」、「IT支援事業」という4つの事業ドメインを打ち立てている。日立グループを中心に、広告物の印刷、イベント、Webなどのコミュニケーションを通じた顧客のブランドイメージ向上、文書の電子化・保管・管理業務、エンジニアリング支援やシステム開発の提供と提案など、幅広いソリューションを提案している。

印刷という形でお客様の コミュニケーション活動に 積極的に関わる

4つの事業ドメインの一つ「コミュニケーション支援事業」の中で印刷業務全般を担ってい

るのが、印刷製造本部である。50年以上前から印刷に携わってきた経験・ノウハウのもと、枚葉オフセット印刷機、輪転印刷機、DTPシステム、オンデマンド印刷機など、充実した印刷機器を設備し、会社案内、製品カタログ、カレンダー、ポスター、名刺、帳票類など幅広い印刷需要に対応している。「日立ドキュメントソリューションズは、印刷から、製本、後加工、倉庫管理、物流まで一貫して業務を請け負い、安心できる品質の製品をタイムリーに提供することをセールスポイントとしています。」(鈴木本部長)

日立グループの会社として各生産プロセスでの徹底した品質管理体制を誇りとし、顧客から高い信頼を得ている。

メンテナンス作業を軽減する、 LED-UV 搭載の V3000LS-4 を 導入

印刷の多品種・小ロット化に伴い、枚葉オフセット印刷部門のさらなる強化が急務となってきた。そこで、白羽の矢が立ったLED-UV 搭載の V3000LS-4 であった。導入のい

印刷加工部 部長
島田 利一氏印刷加工部 課長
上野 徹氏

きさつについて、印刷製造本部 印刷加工部 部長 島田氏は次のように述べている。「オフ輪の仕事が減っている中で、生産性の高い枚葉オフセット印刷機への移行が重要となっており、設備更新に向けての調査を3~4年くらい前から行ってきました。」最終的に V3000LS-4 に決定した理由を、印刷製造本部 印刷加工部 課長 上野氏は次のように振り返る。「V3000LS-4 に決定した理由は、印刷品質や耐久性もさることながら他社製印刷機よりメンテナンスの面で秀でていたからです。グリスアップを自動で行える点や、ニップ幅を自動で印刷させたり

WORKS

実績紹介



日立グループ用のカレンダー。カレンダーの忠実な色再現に V3000LS-4 が応える



高級レストランや、高級マンションのパンフレット



ファンシー系の難しい紙へのベタ刷りも、確実にこなすLED-UV即乾印刷の実力

など、作業員目線のメンテナンス機能が装備されていました。機械の予防保全や、オペレーターの作業軽減の観点でも非常に優れた機械だと感じました。」LED-UV 乾燥装置の導入には、同社が積極的に推進してきた枚葉オフセット印刷部門のUV化が背景にあった。「既存の4台のうち、1台が既にUV化しており、次のUVには、日立グループの一員でもある当社は環境への配慮という意味でも、省電力が特徴のLED-UV乾燥装置付きが必須でした。LED-UVはUVランプ方式に比べて装置からの発熱が非常に少ないので、大掛かりな冷却システムや排気システムを装備する必要がなかったことも導入を決定した理由の一つです。」(島田部長)

130%以上の高い生産性を達成

V3000LS-4は同社の主力ビジネスであるカタログ、リーフレット、チラシ、帳票などの仕事を順調にこなしている。「品質面では油性印刷と遜色ない仕上がりに大変満足しています。昔のUV印刷は油性印刷と違い、光沢が落ちるとか言われていましたが、今ではインキの改良もあって、ほとんど油性印刷と変わりません。」(島田部長)。また、生産効率の面でも非常に大きな効果を得ているという。「V3000LS-4と入れ替え前の油性印刷機との生産性を比較してみると、実に130%以上の生産性を得られています。その理由の一つには、刷版自動交換装置などの自動化装置による段取り時間の短縮があります。もう一つの理由が、やはりLED-UVによる即乾印刷です。裏付き、コスレが無いので、機械を停止させ、検品をするということもなくなりました。また、印刷を停止させるたびに通常のランプ方式でしたら待ち時間が5分程度発生しますが、



LED-UV 乾燥装置搭載 菊全判オフセット印刷機 V3000LS-4

LED-UVではこうした待ち時間が一切ありません。小ロットの印刷では特に効果的です。」(上野課長)
同社ではV3000LS-4の導入に合わせて、インラインの品質検査システムを装備している。LED-UVでは即乾印刷により不良を出しにくいという特徴を持つが、それをさらに品質検査システムで確認することで、品質保証体制を万全にするためだ。

潜在需要の開拓に V3000LS-4 を最大限に活用

V3000LS-4の導入後の展望について、鈴木本部長は次のように語っている。「これまで納期がないからといって断ってきた仕事を、お受けすることができるようになりました。営業が仕事をもらってくるのを印刷現場ではどんどん手助けをしてほしい。V3000LS-4で潜在需要を掘り起こしていきたいです。例えば店頭貼る、ユボ紙を使ったポスター印刷やカレンダーなどです。当社としても



印刷課全員の知恵を出して、課題解決にあたっています。

LED-UV機にかける期待は大きいので、今後も営業と印刷現場で連携を高めてお客様の求めるものを形にしていきます。」

リョービMHIグラフィックテクノロジー株式会社
東日本営業部 東京営業三課 金子 英昭

V3000のセミナーを通じてメンテナンス性の良さを高く評価していただきました。また、LED-UV機を実際にお使いになっているお客様先を見学していただき、印刷品質を十分、検証の上で導入していただきました。

